

2023年3月期 決算公告

2023年6月1日

北海道札幌市北区北七条西一丁目1番地2
北海道アンソロジー株式会社
代表取締役 山崎 正之

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	116,129	流 動 負 債	216,742
現金及び預金	266	買掛金	9,053
売掛金	30,630	関係会社短期借入金	165,540
商 品	46,513	未払金	39,709
仕掛品	3,262	未払法人税等	70
その他	35,481	預り金	185
貸倒引当金	△ 24	賞与引当金	1,989
固 定 資 産	41,433	その他	195
有形固定資産	0	負 債 合 計	216,742
工具、器具及び備品	0	純 資 産 の 部	
無形固定資産	38,861	株 主 資 本	△ 59,179
ソフトウェア	1,692	資 本 金	10,000
無形固定資産仮勘定	37,169	利 益 剰 余 金	△ 69,179
投資その他の資産	2,571	利益準備金	2,500
繰延税金資産	2,543	その他利益剰余金	△ 71,679
その他	27	別途積立金	220,000
		繰越利益剰余金	△ 291,679
		(うち当期純損失)	(74,494)
		純 資 産 合 計	△ 59,179
資 産 合 計	157,563	負 債 純 資 産 合 計	157,563

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ① 商品 先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)によっております。
- ② 仕掛品 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産(リース資産を除く) 定率法
ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

- (2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法

3. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金 売掛債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、事業年度末の一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- (2) 賞与引当金 使用人及び使用人としての職務を有する役員に対して支給する賞与に充てるため、支給予定見込額の事業年度負担分を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社では、主としてインターネットを通じて化粧品等の商品販売を行っております。これらの商品販売取引では、通常、出荷時から当該商品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間であることから、出荷時に収益を認識しております。

5. その他計算書類作成のための重要な事項

法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、当事業年度から、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理を行っております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数(株)	当事業年度増加 株式数(株)	当事業年度減少 株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
発行済株式				
譲渡制限株式	200	—	—	200
合計	200	—	—	200

(その他の注記)

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。